



SUZUKA  
INTERNATIONAL  
FRIENDSHIP  
ASSOCIATION

NO. 76

2013年2月

(財)鈴鹿国際交流協会

内容

おしらせ

○学習支援ボランティア養成講座

○留学生への支援物資

○多文化共生推進セミナー

○テキストを作っています!

○わいわい春まつりボランティア募集

報告

○キムチづくり講座

○フランスセミナー

# SIF A ニュース

外国籍児童・生徒のための

## 学習支援ボランティア養成講座

「本読みの宿題を聞いてほしい」「漢字の読みを教えてほしい」「日本語を教えてほしい」という外国籍の子どもたちがいます。子供たちの学校生活をサポートするためのボランティアを養成するための講座を開催します。

と き：2月7日～2月28日（毎週木曜日）

14:00～15:30 ※2月20日（水）に活動見学を予定

と ころ：ジェフリー鈴鹿 研修室

対 象：地域や学校で学習支援活動に参加できる方。  
できる限り全講座に参加できる方。

内 容：外国籍の子どもたちを理解し、活動をする上での基本的な知識や簡単なノウハウを身に付けます。

講 師：鈴鹿市教育委員会 日本語教育コーディネーター

定 員：20名

参加料：一般 500 円、賛助会員・学生 無料

活動場所：市内小・中学校の放課後教室、ボランティア運営の学習支援室

申込み：2月4日(月)までに、郵便番号、住所、名前、電話番号を記入の上、はがき、ファクス、電子メールで、鈴鹿国際交流協会へ

## 留学生への支援物資を募集します!

鈴鹿国際交流協会では、毎年皆様から日用品等物品（生活必需品）を提供して頂き、鈴鹿国際大学へ贈呈しています。祖国からかばん1つで来日する学生にとって、入学時の支援は大変ありがたく、日本での生活を円滑にスタートさせる大きな助けとなります。鈴鹿で学び、鈴鹿を好きになって、将来ご活躍いただければと思います。みなさまのご協力をお願い致します。

受付期間：2月28日（木）まで

対象の日用品：☆生活用品（タオル、石けん、毛布など）

☆食器（コップ、皿、フォークなど）

☆食料品（サラダ油、カップ麺など）

※ 衣類や、靴はお断りしています。

※ 生活用品や食器は未使用の物をお願いいたします。

○提供していただける品物がありましたら、協会事務局までお届けいただければ幸いです。

3月中旬に品物の整理をし、鈴鹿国際大学へ贈呈する予定です。

整理や運搬にご協力いただける方は、宜しければ協会へご連絡ください。

# 多文化共生推進セミナー

日時：1月24日（木）16：20～18：20 開場 16：00

場所：鈴鹿国際大学 文化ホール

内容：開会あいさつ（鈴鹿市・鈴鹿国際大学）

**基調講演** 「国際協力をきっかけとした“グローバル社会”の実現」

JICA中部三重デスク 三輪田貴氏

**パネルディスカッション** 「多文化共生の推進について」

コーディネーター アーナンダ・クマール教授

パネリスト 鈴鹿市副市長 大森 秀俊氏

多文化共生アドバイザー 水井 健次氏

JICA中部三重デスク 三輪田 貴氏

学生による国際文化紹介



入場料：無料

主催：鈴鹿市/ 共催：鈴鹿国際大学

＜問い合わせ先：鈴鹿市市民対話課＞

Tel.059-382-9058 Fax059-382-7660 E-mail :

[shimintaiwa@city.suzuka.lg.jp](mailto:shimintaiwa@city.suzuka.lg.jp)

## テキストの挿絵を描いていただける方を探しています

あいさつ

	<p>おはよう こんにちは</p> <p>あ：おはよう こんにちは                  乙：おはよう</p>
	<p>こんにちは</p>
	<p>こんばんは</p>
	<p>さようなら</p>

協会では、市内の3つの日本語教室のボランティアさんと一緒に、鈴鹿に住む外国人のための生活テキストを作っています。鈴鹿での生活をより豊かにするための情報や、日本の慣習が分からないことで起こるトラブルなどを少なくするための豆知識などを盛り込んだものにしようと、7月から月一回、みんなで膝を突き合わせて意見を出し合いながら、進めています。

テキストの全体像が出来上がり、皆様にご披露できるようになりましたら、改めてSIFAニュースでお知らせします。

現在、テキストの挿絵を描いていただける方を探しています。ご協力いただける方は、協会（059-383-0724 担当：川出）までご連絡ください。

鈴鹿国際交流フェスタ2013

# わいわい春まつり

4月21日(日)ハンターにて開催!!!



## 運営のボランティアさん募集中!!!



会場設営、民族衣装コーナー、屋台のお手伝い、募金箱の係など、手伝っていただきたい所がたくさんあります。ご協力いただける方は、協会までご連絡下さい。



# 事業報告

## 国際理解料理講座 「本場韓国のキムチ作り」を開催しました。

11月22日(木)・23日(金)の両日、鈴鹿市文化会館にて、IIFC(国際理解実践センター)のメンバー8名とボランティアスタッフ5名(内二名は鈴鹿国際大学の韓国人留学生)のみなさんを講師にお招きして、32名の参加者と共に、二日間にわたり本格的なキムチ作りに挑戦しました。

唐辛子は、IIFCさんが韓国から買って来られたキムチ作りに最適なものを使用しました。

一日目はたくさんの白菜を洗い、4つに割いて、塩を振ります。この塩も韓国産のものを使用しました。その白菜を一旦家に持ち帰り、3時間ごとにひっくり返すなど手間をかけ塩漬けします。

二日目はキムチの素となるヤンニョムを作りました、ランチはこぼれ落ちた白菜に、茹でた豚肉とこのヤンニョムを巻いて食べました。韓国人留学生たちがわかめスープを作ってくれました。全部美味しかったです!

ランチの後は韓国の留学生ふたりのお話で盛り上がりました。質問もたくさん出て、笑いが絶えませんでしたネ!

キムチは数日漬けてからのお楽しみ、ということで、みなさん、食べる日を楽しみに漬けたてのキムチをお持ち帰りになりました。

IIFCさん、ボランティアのみなさん、ありがとうございました。



## 国際理解セミナー 「コレがフランス??」を開催しました。

11月10日(土)ジェフリー鈴鹿にて、三重日仏協会副会長の井土真杉さんを講師に迎え、「コレがフランス? ~四半世紀の交流から見えたフランスの姿~」を21名の方にご参加いただき開催しました。

井土さんは、大学でフランス文学を専攻され、放送局にお勤めになる傍ら、三重日仏協会の立ち上げから運営に関わられてきました。これまでに交流された経験を、フランスの国歌や古いシャンソンを聞いたり、映画のワンシーンを取り出し、説明を交えていただきました。客観的な映像を見ていると、よりリアリティがあつて話に引き込まれてしまいました。フランス国歌は、フランス革命時にできた戦いを鼓舞する内容なので、フランス人の間でも時代に即したものに変わるべきだという議論もあることも紹介してもらい、日本でも言われている「国歌」の扱いについて国が違っても、似たような議論があるようで面白かったです。

休憩時には、市内のパン屋さん「ドミニクドゥーセの店」のご協力により、みなさんにラスクをご賞味いただき、大好評でした。

セミナーの様子は、協会ホームページに詳しく掲載していますのでご覧ください。市内のフランス料理店も掲載していますので、舌でもフランスを楽しんでいただければ幸いです。



財団法人鈴鹿国際交流協会

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-18-18 市民会館正面玄関西

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp

URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>

